



発表項目 (行事名)	江差保健所管内における食中毒の発生について		
記者レク チャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>令和5年10月5日(木)に自宅の裏山で採取したキノコを自宅で味噌汁にして、家族2名で午後6時頃喫食したところ、1名は、6日(金)午前2時頃に嘔吐、下痢を呈し、もう1名も下痢を呈した。同日、2名とも江差町内の医療機関を受診したところ、毒キノコを原因とする食中毒と診断された。</p> <p>江差保健所の調査の結果、患者が採取したキノコの残品の形状等から、江差保健所はドクツルタケ(推定)を原因とする食中毒と判断した。</p>		
参考			
報道(取材) に当たって のお願い			
他のクラブ との関係	同時配布 同時レク	(場所)	本内容は、保健福祉部健康安全局食品衛生課においても同時に資料配付する。
担当 (連絡先)	北海道檜山振興局保健環境部保健行政室生活衛生課 生活衛生課長 竹下日出夫 TEL 0139-52-1053		

江差保健所管内における食中毒の発生について

令和5年10月6日（金）19：30

北海道檜山振興局保健環境部保健行政室
（北海道江差保健所）

TEL：0139-52-1053

北海道保健福祉部健康安全局食品衛生課

TEL：011-204-5261

1 探 知

令和5年10月6日（金）午前11時頃、江差町内の医療機関から、キノコを食べて食中毒様症状を呈した患者2名が受診した旨、江差保健所に連絡があった。

2 概 要

令和5年10月5日（木）に自宅の裏山で採取したキノコを自宅で味噌汁にして、家族2名で午後6時頃喫食したところ、1名は、6日（金）午前2時頃に嘔吐、下痢を呈し、もう1名も下痢を呈した。同日、2名とも江差町内の医療機関を受診したところ、毒キノコを原因とする食中毒と診断された。

江差保健所の調査の結果、患者が採取したキノコの残品の形状等から、江差保健所はドクツルタケ（推定）を原因とする食中毒と判断した。

3 発症日時

令和5年10月6日（金）午前2時00分頃

4 有症者数

2名（通院0名、入院2名、死者0名）

5 症 状

嘔吐、下痢等

6 原因食品

ドクツルタケ（推定） 別紙参照

7 原因施設

家庭

8 保健所のとっている措置

江差保健所では、キノコ狩りのシーズンを迎え、有毒キノコの誤食による食中毒が発生しやすいことから、広く住民に注意を呼びかけている。

<道民の皆様へ>

- ・ 知らないキノコや食用と確認できないキノコは採らない、食べない、売らない、人にあげないようにしましょう。
- ・ 食用のキノコの中に毒キノコが混ざって生えていることがありますので、種類ごとに区分して持ち帰り、食べる前に再度確認するようにしましょう。
- ・ 食べて異常を感じたときは速やかに医師の診察を受けるようにしましょう。

ドクツルタケ（毒）

夏から秋にかけて、広葉樹かマツの混じる林内に発生する白色の猛毒きのこ。
のブナ、ミズナラ、コナラ、シラカバや針葉樹林に発生する。

誤食すると激しいおう吐と下痢がはじまり、やがてコレラ用の脱水症状を起こし、最悪のときは死に至る。

傘は径5～15cmで、表面は白色で絹のような光沢がある。

ひだは白色で、柄に離生し、密。

柄は白色で、表面に著しいササクレを生じ、情報に膜質の白いつぼがある。根元には袋状の白いつぼがある。

（参考：野や山のきのこハンドブック【毒きのこの見分け方】）



写真は、厚生労働省ホームページ（自然毒のリスクプロファイル）より